

馬場 勉の平成つれづれ草



ど
か
か
せ
ん
と
お
え
ん

政令都市岡山・街づくりプランナーが大胆提言

はじめに

この本は、私が平成3年5月から平成21年3月までの約18年間に、余技ながら真面目にかつ真摯に執筆した約500回の記事の中から29篇を選んで編集したものです。平成の世のただ今、つれづれなるままに書いたものです。鎌倉時代に吉田兼好が「徒然草」を残し現在でも随筆の代表的な有名な古典として内容も多岐に渡り豊富です。私もそういう面では若干は似ている面もありますが、時事的な事柄も多く一般読者の人には結構受けたところもあつたようです。

この度、まとめて本にしたらというお勧めがあり、出版する運びになりました。多くの人の献身的な尽力の賜物で、御協力・御指導を賜りめでたく誕生した本です。

読者の皆様に何か心に残るところがあれば、筆者としてはこの上なく本当に嬉しいよろこびです。そうあつて欲しいと願っています。

はじめに

「盧舎那仏」に中国美の極致を見た 1

夜明を待つ心が必要 意気消沈するな！ 7

「ヤル気」と「情熱」が生氣をみなぎらせる 12

日本と世界は連携の時代へ 17

総理より首長の方が自己実現できる？ 22

夢と希望を与える政治を！ 27

人工建造物の3大世界遺産 32

古いヤツほど新しいものを欲しがる！ 37

強い日本国 日本国民を確立して欲しい 42

おもしろ おかしい岡山を目指そう 47

岡山の先人の偉業を顕彰し 広く周知を 52

「風評被害」 減殺の必要が生じ残念に思う 57

「志」を高く熱い情熱を胸に挑戦 実行を！ 62

窮すれば変じ 変ずれば通ず 67

政令指定都市にふさわしい街づくりを 72

岡山の存在感を全国に売り出す年に！ 77

「時は金なり」 行政はスピードが大切 82

人心の一新を図ることが必要 87

中国の視野にあるライバルはアメリカ！ 92

誰よりも一生懸命にやるのが成就の秘訣 97

東京一極集中と地方の疲弊 102

岡山市民病院は地域医療の堅持を貫け 107

起・承・転・結の人生設計を	112
積極的に地元企業の活用を	117
論功行賞は昔も今も変わらず	122
ドーナツ型からアンパン型へ	127
変な日本になったのはなぜか？	132
郷土岡山に自信を持とう！	137
リストラ嵐に立ち向かう	142

おわりに

省 略

本文を含んだ全体版は書店等でお求め下さい。

おわりに

ユーモアとペーソスの泣き笑い人生

私は、戦時中、現在の岡山市北区大学町の自宅の周りで生まれ、ずっと現在に至るまで同じ所で過ごしている。地元の鹿田小学校、桑田中学校から岡山朝日高校へ進み、大学は東京・神田駿河台の中央大学で法律を学んだ。法曹を志したが頭の構造が緻密でないため転向した。

「人間万事塞翁が馬」の如く何が良いかどうかやってみないとわからない。不動産鑑定士の道に進み、さほど試験には悩まされることも無く資格は取得した。実務を勉強するために勤務したものの、サラリーマン生活の経験が乏しかったため苦勞した。しかし不動産鑑定士は天職だったため、我が人生に悔いはなかった。仕事は楽しく苦しいと思つたことはほとんどなく、疲れは残らない。

昭和51年暮れ、父の死により岡山に帰ってきてきて不動産鑑定事務所を開業し、そ

の後組織変更をして株式会社になり現在に至っている。開業以降33年間は経過している。これからも、ただひたすらに仕事を極めるために働き続けたい。弊社の職員の養成教育と月給をいつまでも末永く支払い続けることに喜びと人生の喜怒哀楽を味わいたい。開業30年を記念して平成19年3月に「おかやま適塾」を発足させ現在に至っている。塾長として塾のステータス向上に努めている。

比較的、学問好きのため子供のころからよく勉強はした。今でも読むこと・書くこと・聞くことに時間を費やしている。母が88歳になった時に四国88カ所の遍路巡礼に連れて行ってほしいということになった。お遍路の旅、西国33カ所めぐりなど旅行に連れて行って93歳で亡くなるまで親子で旅を供にした。

近所の人達は親孝行をしたと褒めてくれるが、私にとっては、老いた母を毎週の如く旅行に連れて行くのは結構大変だったが、良い善行をしたと思っている。

母のことが気になっていたり、仕事が多忙であったりで一人の生活が長かったが、最近では結婚を約束してくれる人がいて、いずれ、落ち着いたら妻になっても

らうことになっている。

私のライフスタイルは、皆で楽しむゴルフが嫌いなわけではありませんが、どちらかと言えばみんなでワイワイ楽しくヤルよりは、一人で静かに過ごす方が好きなタイプのようだ。神社仏閣や歴史探訪さらに上野公園にある東京国立博物館などで国宝を鑑賞するのが楽しみで、よく東京に行ったときに立ち寄る。

日常生活については、人と話すのは好きなため人づきあいは悪くはないと思っている。余技ながら18年間にわたりコラムや随筆を書いてきた。この度、勧めにより本を発刊するにあたり読み返してみても、こんなことを書いたこともあるんだなあと思わず苦笑いしたことが随所にある。

比較的読みやすく、読みごたえはある文章を書いてきたと自負はしているのだが独善になるだろうか。私の文章に対してほとんど批判的な言葉はなかった。私の執筆活動は自由に思いのたけを書くことができ幸せだったと思う。

私は現役で仕事をしている。これからも現役を貫きたい。若い資格者の養成も

続けたい。旅もしたいし、文章も書いてみたい。やることは多いが、時間が足りないと言いたいが、いかに時間をやりくりするかは人生を生き抜く要領の良さがあると思う。

人は必ず死ぬ。それまでは元気に一日一日を充実させることが重要だと思う。

私の好きな言葉は「自今生涯」。すなわち、これからが人生だから将来に向って頑張ろうという意味だと思う。また「おもしろおかしく」すなわち、おもしろい人生でかつ楽しいものでなくては生きる価値がないということだろう。

幸い私は、身体検査をしても悪いところはない。血圧は年齢に応じて上昇するがコントロールしているから問題なし。健康体に生んでくれた先祖の皆様へ感謝している。まだまだ同年輩の先頭にたって走り続けたいと思っている。タバコも酒も口にしない健康な生活を送っている。

今年から岡山の大学で不動産関連の講義の非常勤講師として教壇に立っている

が、授業料と時間をかけて大学生活を送っているのに、もう少し勉強したらと思うこともある。学ぶ姿勢に疑問を持つ。私の方がもっと真面目に仕事を始め、何事にも真摯な気持ちであるような気がしているが、独りよがりな思いかもしれない。教授陣達の気持ちは幾ばくばかりかと思う。

学ぶことは死ぬまで続けたい。他の者に多少の刺激を与えるくらい的好奇心と向上心を持って生き続けていきたい。世のリーダーたらんとする者はそれくらいの意気込みが必要だろう。

この本を読んで下さってありがとうございます。お気づきの点がありましたら、御教示下さい。よろしくお願い申し上げます。感謝いたします。

合掌

二〇〇九年六月

馬場 勉